

熊本大学大学院法曹養成研究科  
平成27年度第3期募集 法律科目試験問題

# 民 法

平成27年1月25日（日） 10:00～11:00

## 解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして、2枚の解答用紙（裏面も使用）に収めて下さい。  
解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】以下の事案について、設問に答えなさい。（配点：80点）

Aは、その所有する甲土地をBに売却し、登記名義をBに移転して引渡しも済ませたが、この売買は、債権者からの差押えを免れるために、Bと通謀してなされた偽装のものであった。ところが、Bは、自分に登記名義があることを奇貨として、甲土地を事情を知らないCに売却し、引き渡してしまった。一方、Aは、Bへの売買は偽装のものであったことから、この事情をDに説明し、Dに対して甲土地を売却して代金の支払を受けた。現在、甲土地の登記名義はBのもとにある。

設問1 CはBに対して甲土地の登記名義の移転を求めることができるか。また、DはBに対して甲土地の登記名義の移転を求めることができるか。

設問2 DはCに対して甲土地の引渡しを求めることができるか。また、CはDに対して甲土地の所有権を主張できるか。

以上